和歌山県立
日高高等学校
SGH通信
第２０号

2020年1月29日

2019年度◆SGH海外研修◆
カナダ研修 その１

2019年10月27日 ～ 11月1日

テーマ「移民」

今年度は２年生６名、１年生２名の計８名が参加しました。事前研修では日高地方からバンクーバーに渡った移民の歴史や「移民大国」カナダについて理解を深めた他、自主研修として行う街頭インタビューの項目について、小班に分かれて計画と準備を進めてきました。

現地では和歌山県人会の方々から、移民時の苦労や異国の地で生き抜いてきた過程を力強いメッセージとともに聞かせていただきました。また、場所設定から始まってすべて自分たち高校生だけで行う英語インタビューでは、英語実践はもちろん、カナダの人々の温かさを実感する素晴らしい機会となりました。

主な研修内容

10/27　出国

10/27　市内研修（移民の都市）

10/28　ﾘｯﾁﾓﾝﾄﾞｾｶﾝﾀﾞﾘｰｽｸｰﾙ

10/29　移民学修

・県人会訪問（移民の現在）　・史跡訪問（移民の歴史）

10/30　自主研修（インタビュー調査）

10/31　出国（11/1　帰国）

２年５組　本間　愛子

県人会の方には「日本では移民に対してあまり関心がない人が多いが、もっと人々に関心を向けてもらうにはどうすれば良いと思うか。」と質問した。私自身は、総学の授業がきっかけで移民について知ることになったこともあり、もっと実際にふれあえる機会を増やしていく、という答えが返ってくるのではないかと予想していた。

しかし、返ってきた答えは「自然と関心が向いてくることになる」というものだった。その理由は、今後、少子化問題の影響や仕事に就かない若者が増えること等が原因で、労働者不足が加速していく。それに伴い外国人労働者を雇わなければならなくなり、よって、移民も増える結果になるから、ということであった。私は、自然と関心が向く、という状態は考えてもみなかった答えだったので、とても驚いた。やはり、実際に経験している方だからこそ感じていることがある。新たな視点に気づくことができて良かったと思った。

また、体験談を聞く中で他にも学ぶことが多くあった。高校生である今、時間があるうちに、自分が得意とする何かを見つけてそれを磨き、お話をしてくださった平野さんのように技術を持っておくと、将来、役に立つときがくるのだと思った。だから、少しでも自分が興味のあることに目を向けて、可能性を広げ、選択肢を増やしておくことが大事だと学ぶことができた。